

一般質問



問 定住促進について 答 計画的に取り組む

△大原議員V

町長は施政方針で、若者のU・ターンにより定住促進を図ると言っている。

その目標は次のどれか。

- 一、人口の増加
- 二、人口減少率の低下

三、目標人口を設定しそれを維持する。
また受け入れる若者像とは。

次に都会の若者を呼び込みたいとあるが、滝上町の認知度等が高くないと呼び込みは無理だと思う。どの様にしてそれを高めるつもりか。

△長屋町長V

二の人口の減少を最小限にとどめることを目標としたい。その為に緊急雇用対策事業や若者等の支援策「ずっとスマイルたきのうえ」等の対策を講じていく。

また今年中に、総合戦略を策定し、人口減少対策のための基本目標や数値目標を定める。受け入れる若者は、

独身・既婚を問わない。ただ都会にはない滝上町の良さ、不便さも理解したうえで、町を気に入ってくれる方を受

け入れていきたい。

都市部で町の認知度を高めるため、移住交流情報ガーデン等の活用を考えている。

また移住を考えている人は、インターネットを利用してあるので、町ホームページはもとより各種サイトも利用していきたい。

△大原議員V

人口減少率の低下を選択されたが、人口が減りすぎたら商業が成り立たなくなる。

アベノミクスでは、国内成長率年3%と目標を定めている。それを達成するため、消費税増税の延期等の対策を講じることができ、やはり町長は人口目標を示すべきではないか。

△長屋町長V

国は人口を1億人で安定させたいという目標を持っている。

町も策定する人口ピ

ジョンでどの程度の人口に持つていくかを示したい。

また数値目標を定め、5年計画を策定し、毎年見直しを掛けながら計画実現に向けて取り組んでいく。

△大原議員V

人口減少が悪いわけではない。明治維新のときの総人口は3330万人だった。しかし外国人から見たら、日本人は豊かな暮らしをしていると感じていた。町民も豊かな暮らしができれば人口減少は気にならない。

だが人口が減りすぎると、農林業や商業も含めて事業継続が困難になる。

その為にも町長は、希望の持てる数字を示すべきだが。

△長屋町長V

各世代間の人口バランスが取れ、フラット

化できれば良いと考えている。それが本当の目指すべき目標であることは間違いない、それによって町民が希望を持てる事が最高です。今この場で目標を言う事は出来ないが、策定する人口ビジョンの中で示していきたい。また策定に当たっては、広く町民の意見も取り入れていきたい。